

大分県 豊後大野市

業務名	業種・事業名	自己資本構成比率 (%)	水力発電所数
法非適用	電気事業	該当数値なし	-
ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数	その他発電所数
-	-	5	-
料金契約終了年月日	F I T適用終了年月日	電力小売事業実施の有無	売電先
平成46年4月1日 豊後大野市第2発電所	平成46年4月1日 豊後大野市第2発電所	無	九州電力株式会社
地産地消エネルギーへの寄与度 (%) ※1			
-			

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量 (MWh)	H23	H24	H25	H26	H27
水力発電	-	-	-	-	-
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	2,027	2,582
合計	-	-	-	2,027	2,582

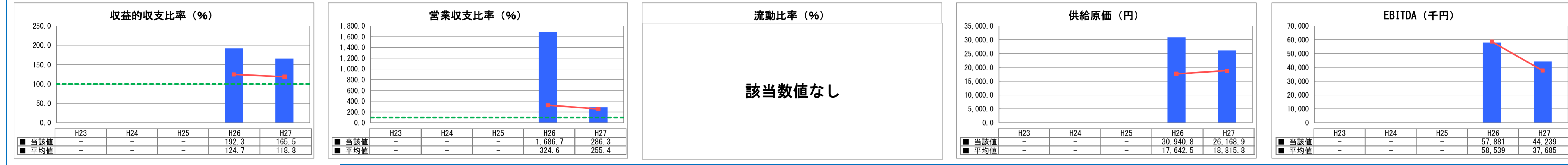
	F I T以外	F I T	合計
年間電灯電力量収入 (千円)	-	103,299	103,299

経営比較分析表

剰余金の使途について (具体的な使用実績事業を記入してください)	
一般会計への繰出し	
目的: 繰出し後、一般財源化	28,393千円

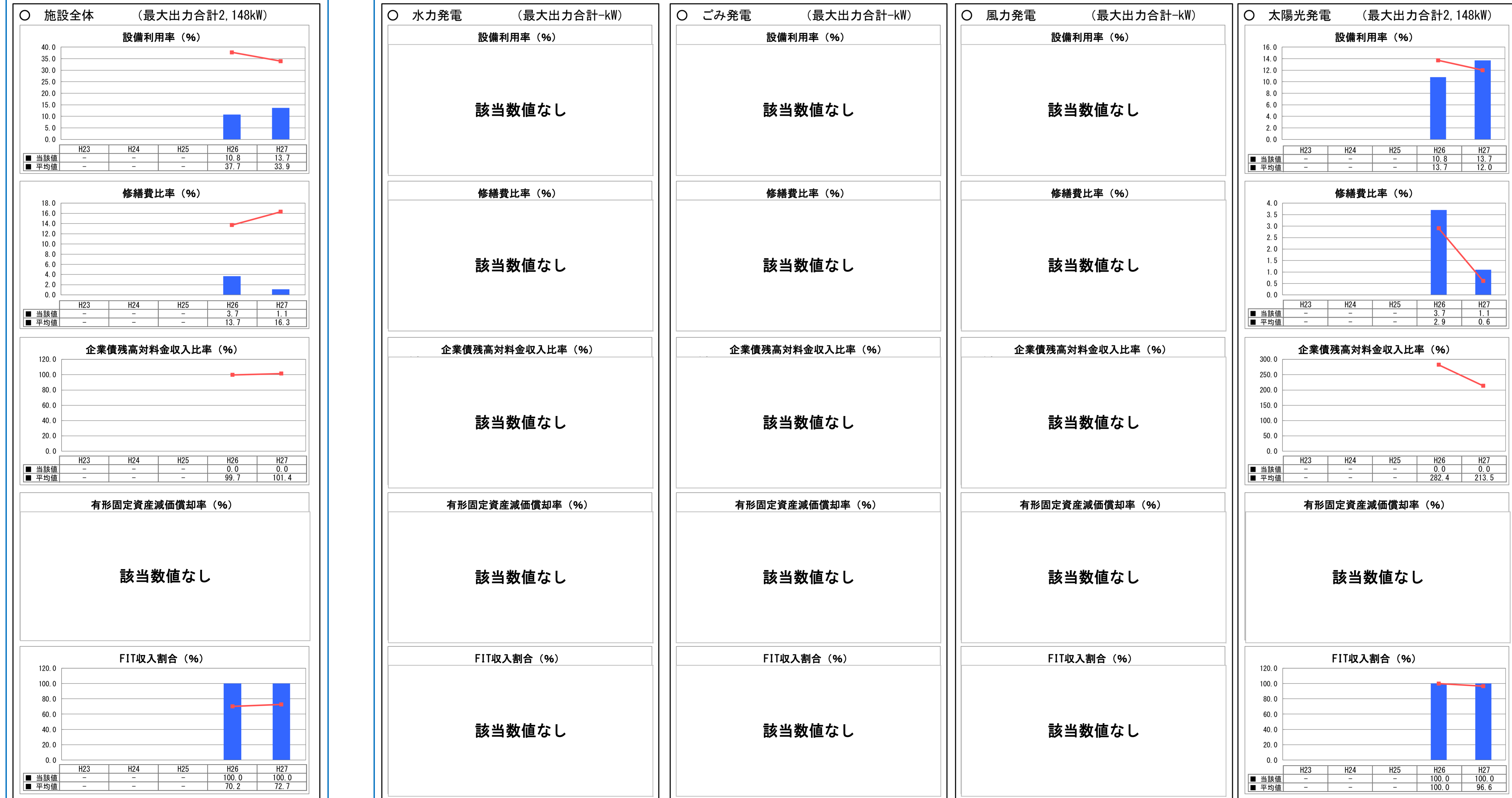
●電気事業全体

1. 経営の状況



●発電型式別

2. 経営のリスク



※ 平成23年度から平成27年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT収入割合については、平成27年度の団体数を基に平均値を算出しています。

分析欄

1. 経営の状況について
平成25年度に施設工事が完了し、平成26年度より、5ヶ所の発電所を順次稼働開始してきたところです。日照時間も比較的安定しており、予定を上回る収入が確保できており、経常収支比率は100%を上回り、安定して推移しております。

2. 経営のリスクについて

平成26年度より順次施設を連系させて売電を開始しているところですが、設備利用率も経過よく稼働しているところです。
初期投資に要した費用については、企業債は利用せずに、売電収入で分割して返納する扱いとしていることから、企業債残高対料金収入比率の算出されません。
F I T適用終了(H45年度)後の事業のあり方については、現時点で方針は定まっていないが、企業会計の適用を行っていく中で、売電収入の変動リスクも踏まえて検討していきます。

全体総括

現状経営状況を維持しながら、今後、経営戦略の策定を行っていく中で、F I T終了後の対応や経常収支比率の改善等を検討するものとし、最善の配慮をもって施設運営を行っていきます。